

先週のマーケット動向(1月30日~2月3日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,229.9	1,233.2	1,216.4	1,229.4	▲1.9
JPY/KRW	9.4586	9.5649	9.4307	9.5636	+0.106
KOSPI	2,484.64	2,491.13	2,423.37	2,480.40	▲3.62

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下に行ってこい。30日のドル/ウォンは1,229.9ウォンでオープン。この週はFOMCおよびECB会合以外に材料に乏しく、前の週まで見られていた外国人投資家による韓国株買いも落ち着いたことから、週前半のドル/ウォンはほとんど方向感のない展開となった。1月韓国貿易収支(結果: ▲126.9億ドル、予想: ▲92.7億ドル)は悪い結果となったものの、こちらもドル/ウォン相場への影響は限定的。FOMC(2/2未明)ではパウエルFRB議長によるハト派的な発言によりドル売りが進行したことでドル/ウォンは週安値1,216.4まで下落。しかし、ECBが50bpの利上げを実施し、3月も50bpの追加利上げを示唆すると、インフレ鈍化期待が後退しドル/ウォンも上昇。結局、先週対比1.9ウォン下落した1,229.4ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは反発する展開を予想する。先週の米雇用統計は賃金インフレが収まりインフレが鈍化するという、市場の期待を打ち消す内容となっており、ドル/ウォンも大きく上昇している。市場全体では2か月にわたりドル売り地合いとなっていたことから、ドルショートポジションが相応に溜まっていると考えられ巻き戻しが入ると一気に上昇する可能性がある。今週は目立った経済指標やイベントが無いことを勘案すると、11月下旬から続くドル/ウォンの下落に調整が入りやすいのではなかろうか。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1235 ~ 1265	9.25 ~ 9.55	131.0 ~ 134.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 8日(水) 韓 12月 国際収支
- 日 12月 国際収支
- 10日(金) 米 2月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値
- 中 1月 PPI
- 中 1月 CPI